

大会長 宇藤 純一 熊本血管外科クリニック

このたび、第18回 日本静脈学会 瀬戸内・西日本支部総会の大会長を拝命いたしました熊本の宇藤純一です。今回はご縁があり、熊本の地で「Japan Venous Talk 2026 (今井崇裕会長)」との共同開催を行う運びとなりました。これまでにない新しい形での学術集会となり、さらに活気のある有意義な学会になるものと期待しております。

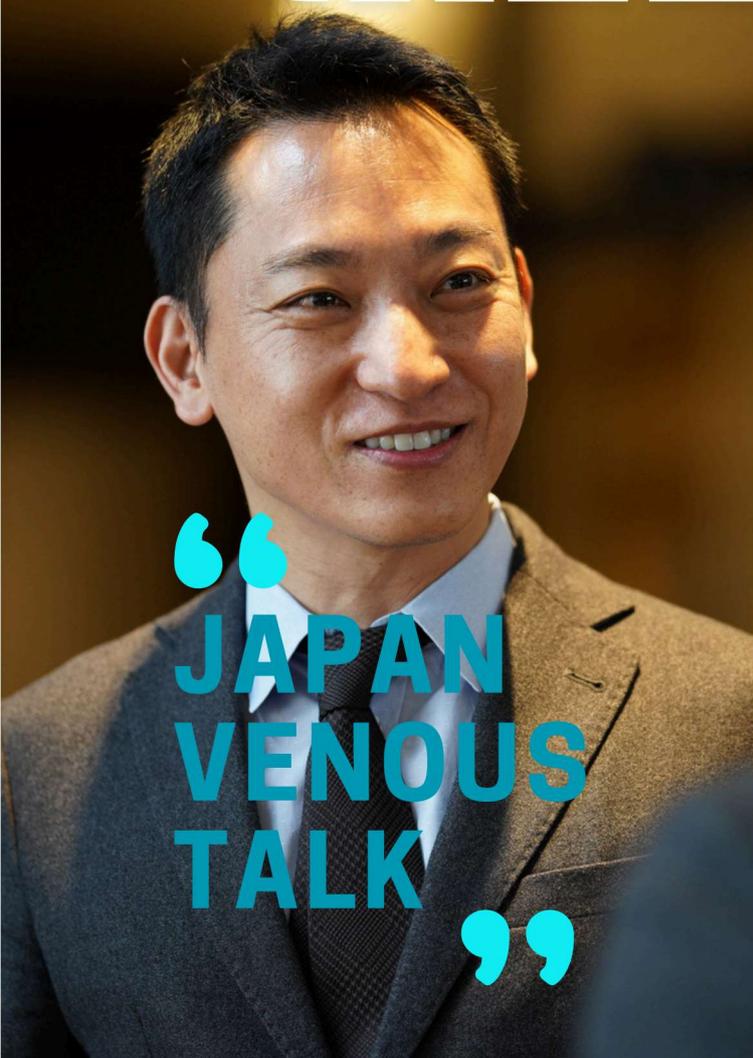
今回のテーマは「Patient firstのための工夫」としました。各分野のエキスパートの先生方に、静脈エコー検査のアップデート、静脈疾患とフットケアの接点、静脈学の歴史と未来、浮腫の鑑別、不全穿通枝や側枝瘤の治療、最新の硬化療法など、日常の診療に役立つお話をしていただく予定です。

4月は桜の季節。学びと交流の時間を熊本の地で共有できることを心から楽しみにしています。充実したプログラムを準備し、会場も十分なスペースをご用意しております。沢山のご参加を心よりお待ちしております。



“ 第18回 日本静脈学会
瀬戸内・西日本支部総会 ”

GREETING



大会長 今井 崇裕
西の京病院血管外科

日本の静脈学は、専門性が高く、成熟した分野です。その一方で、「専門的すぎて若い世代が入りづらい」という声も少なくありません。だからこそ、Japan Venous Talkを立ち上げました。若い先生が気軽に参加し、発言し、挑戦できる。そして、明日からの診療にすぐに活かせる、実践的でリアルな学びを共有できる。そんな学会を目指しています。

これまではYouTuberによる講演を取り入れるなど、従来の枠にとらわれない挑戦も続けてきました。例年、海外の若い世代の先生方を招き、楽しく、刺激を受けながら学べる空間づくりにも取り組んでいます。エキスパートと若い世代が肩書きを越えてつながり、経験を語り合い、悩みを共有し、技術を手渡していく。これまでの経験を次世代へと手渡していくことは、未来をともに創ることであり、それが医師としての人生における大きな価値ではないか、と思う今日この頃です。

Japan Venous Talkが、世代をつなぎ、静脈学の未来を育てる場となることを心から願っています。

“ JAPAN
VENOUS
TALK ”

Vein Week

JAPAN Venous Talk 2026

第18回 日本静脈学会 瀬戸内・西日本支部総会

PATIENT FIRSTのための工夫

Strategies for a Patient-First Approach

会場 | 熊本城ホール
大会長 | 今井崇裕 (西の京病院血管外科)
| 宇藤純一 (熊本血管外科クリニック)

2026

4/5 日 8:30 ~ 15:00

CVT更新制度 5単位
日本フットケア・足病医学会 1単位
リンパ浮腫療法士 1単位

